

同窓会事務所、レンタルオフィスの活用へ

2011 年より、会計長・幹事長・監事・副会長をそれぞれ 3 年ずつ務め、現在は顧問として関わっております。この間、さまざまな経験をさせていただきましたが、今回は“縁の下の力持ち”的存在である「同窓会事務所」について、少しお話ししたいと思います。

事務所といっても、華やかさはありません。しかし、同窓会の運営においては、とても大切な役割を担っています。

会則では、「この会は、原則として会長宅または幹事長宅に事務局を置く。その他の場所に置く場合は、会長が指定し、幹事会の承認を得る」と定められています。創立当初はその通り、幹事長のご自宅を拠点にされていたことが多かったようです。とはいえ、3 年とはいえ自宅を事務所にする負担は、想像以上だったのではないのでしょうか。

2002 年からは、自宅ではなく、都内のマンションやアパートの一室(西麻布・四ツ谷三丁目・三番町など)を事務所として借りるようになりました。そして私が会計長を務めていた 2013 年、事務所経費の削減を図るため、自前の物件ではなく「レンタルオフィス」への移転を提案しました。

当時は、ベンチャー企業や個人事業主を中心に、レンタルオフィスの利用が広がり始めた時期。都内にも多くの業者が出始めており、条件を吟味しながら選定を進めました。

重視したのは、

- ①駅から近いこと
- ②会議スペースがあること
- ③住所や電話番号を正式に登録できること
- ④幹事長や会計長が作業可能な環境であること

の 4 点です。

これらを満たした場所として、東京駅・日本橋駅から徒歩 5 分ほどの「ウイズスクエア日本橋」を選び、三番町から移転しました。

初めは多少の不安もありましたが、使ってみると意外に快適。

幹事長や会計長が週に 1 回ほど作業に訪れる際には、空いているデスクを確保でき、冷暖房やセキュリティ面も安心です。電話や FAX も代表番号に届いたものは、即座にメールで転送されるため、情報の取りこぼしありません。

一つだけ悩ましかったのは、備品や過去資料の保管です。

レンタルオフィスには、パソコン保管用のロッカーしかなく、総会で使用するパイプ棒(組み立て式で全長約 2m)——横断幕「上田高校関東同窓会 第〇〇回定期総会」を吊るすための道具——の置き場所に困りました。

総会会場の如水会館に保管をお願いする交渉も行いましたが、残念ながら受け入れは難しく…。

そこで、事務所に近い八丁堀のトランクルームを月額約 1 万円で借りることにしました。年に 1 度の使用にしては割高な出費ではありますが、やむを得ない判断だったと思っています。

こうして現在は、日本橋のレンタルオフィスと八丁堀のトランクルームの二本立てで運営を続けています。すでに利用を始めて 10 年以上が経過しましたが、レンタルオフィス業界も日々進化しています。今後も、現状にこだわらず、より良く、より合理的な選択肢があれば柔軟に見直していく——そんな姿勢が大切だと思っています。